

広報 *Tome*

Miyagi Tome Public Relations

青空へ、もっと高く

特集

- | | |
|------------------|-----|
| さよなら。森小学校 | P 2 |
| 感動いっぱい、海外体験 | P 8 |
| 火災から、「自分の大切」を守る。 | P12 |
| 米川の水かぶり | P25 |
| 市民の広場 | P28 |
| 市からのお知らせ・暮らしの情報 | P30 |
| ときめき人 | P36 |

3.1

March 2013
Vol.189

森小学校 沿革概要

- 明治6 上行寺を仮校舎にして開校
- 11 八幡山に校舎新築
- 20 森尋常小学校となり、8月新校舎落成
- 22 宝江尋常小学校森分教場となる
- 25 森尋常小学校となる
- 大正12 宝江村農業補習学校森分校を併置
- 15 宝江尋常高等小学校森分教場となる
- 昭和4 校舎を森字堤（西表）に新築し移転
- 16 宝江国民学校森分教場となる
- 24 宝江村立森小学校となる
父母教師会を結成
- 31 町村合併により中田町立森小学校となる
- 32 森地区迫町編入により、迫町立森小学校となる
- 37 校歌制定、校旗樹立
- 40 プール設置、日本庭園造成
- 41 森保育園が校舎内に開園
「愛の鐘」設置
- 42 相撲場設置
- 44 児童遊園地設置
- 45 屋内運動場落成
- 48 校庭拡張（運動場造成）、体力づくり遊具設置
- 51 森地区子ども育成会設立
- 52 新校舎落成
- 55 校庭遊具設置、屋体通路完成
- 59 花壇造成
- 平成元 校木制定「サクラ」
- 10 新屋内運動場落成、校旗新調
- 13 狩野少年の碑周辺整備完了
- 17 町村合併により登米市立森小学校となる



地域の方々も多数参加した運動会

昭和52年に完成した新校舎ともお別れ



おぼれる友を救い亡くなった「狩野善治郎少年」をしのぶ会

全校児童による合唱が披露された学習発表会

頑張る児童をたたえてきた「愛の鐘」



昭和24年当時の写真

■小学校別の児童数 (平成24年10月1日現在)

地区	学校名	児童数						合計
		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
迫	佐 沼	119	114	119	127	118	132	729
	新 田	17	31	30	23	27	20	148
	北 方	39	38	25	48	32	41	223
	森	4	2	14	3	12	6	41
登米	登 米	37	42	34	56	54	38	261
東和	米 谷	19	20	18	28	25	31	141
	錦 織	8	13	10	6	11	16	64
	米 川	14	13	17	13	15	16	88
中田	石 森	23	27	25	23	28	31	157
	加賀野	37	54	40	55	53	63	302
	宝 江	12	23	19	31	23	31	139
豊里	上 沼	31	32	31	28	35	33	190
	浅 水	21	14	20	15	25	28	123
	豊 里	41	73	70	58	66	58	366
米山	中津山	33	35	39	26	39	32	204
	米 岡	18	15	24	24	18	19	118
	米山東	32	26	26	35	27	37	183
石越	石 越	41	36	45	44	38	49	253
	南 方	25	39	42	35	35	40	216
南方	西 郷	19	22	25	21	22	24	133
	東 郷	22	20	23	21	23	15	124
津山	柳 津	11	19	22	14	19	18	103
	横 山	11	17	13	17	13	9	80
合 計		634	725	731	751	758	787	4,386

森小学校統合



森小学校が、平成25年4月から同じ迫町内にある佐沼小学校と統合する。小学校の統合と併せ、森幼稚園も閉園となる。児童・園児の通学は市の通学・通園バスで行う。佐沼小学校は現在新築工事を進めており、完成は今年3月。森小学校の児童たちは、完成した新校舎に4月から入る。統合に当たっては、森小PTA、佐沼小PTA、地区住民ら関係者でつくる統合準備委員会（鈴木香委員長）で、検討・準備を進めてきた。森小学校閉校式・森幼稚園閉園式は3月24日（日）午前9時30分から森小学校体育館で開催される

特集

さよなら。森小学校

迫町にある森小学校が平成25年4月から佐沼小学校と統合します。森地区のコミュニティの拠点であり140年の歴史を重んじてきた同校の閉校を関係者の思いを交えて紹介します。
(27ページ)

子どもたちのことを一番に考え決断 佐沼小学校で新たな歴史を刻む

昨年4月に森小学校のPTA会長に就任しました。その就任2日目に市の教育委員会から佐沼小学校との統合の話がありました。

当時は、われわれPTA執行部をはじめ多くの保護者が統合に反対でした。森地区コミュニティの中核を担ってきた小学校がなくなることの危機感と、子どもたちをこの森小学校から卒業させてあげたい思いがあったからです。

森小学校140年の歴史の中で最大四百数十名いた児童も、今はもう41名。森地区でも年々少子化が進んでいて、来年度の新入学生の状況からは、全クラスが複式学級となる事態も予想されていました。PTAや地域の方々と幾度

となく話し合いを重ね「子どもたちにとって何が一番良いことなのか」を真剣に考えました。最後は、皆さん断腸の思いながらも、全会一致で統合を決断しました。

4月からは佐沼小学校への統合となります。森小学校の児童は、今も昔も上級生が下級生の面倒を見て、下級生がそれを学び上級生を慕い、思いやりの心、優しい心、そして忍耐強くたくましい心を育みました。子どもたちには「森っ子」であることの自信と誇りを持ち、佐沼小学校でもたくさんのことを学んでほしいですね。今後は、佐沼小学校、佐沼地域の皆様との交流を深め、新しい歴史を共に築いていきたいと思っています。



森小学校PTA
けんじ
会長 鈴木 憲司 さん
(迫町・赤沼)

森小学校の統合に向けて準備を進めている3人の関係者に 統合への思いを聞きました



森小学校・森幼稚園閉校・閉園
記念誌編集委員会
かつみ
委員長 芳賀 勝美 さん
(迫町・平柳)

森小学校PTAの副会長で、森小学校・幼稚園の閉校・閉園記念誌の編集委員長をしています。編集委員は、PTA執行部と広報部、歴代PTA会長で組織する「さくら会」の方々が構成しています。

時間がない中で編集作業でしたが、記念誌にはこれまで積み重ねてきた歴史・資料のほか、関係者の方々に寄稿をお願いしました。地区の方々や卒業生などの熱い思いが寄せられています。別冊で製作する幼稚園の記念誌には、森幼稚園40年間の入園式か卒園式の集合写真をすべて載せることができそうです。

作製した記念誌は、森地区の毎戸に配布しますので、楽しみにしてください。また、有償にはなりますが、希望いたします。

望がある方にはお譲りしたいと考えています。

私の子どもは、森小学校の在校生に5年生の息子と3年生の娘がいて、4月から佐沼小学校に通います。子どもたちも、最初は森小学校から佐沼小学校に変わることにより、不安があったようです。それでも佐沼小学校の子どもたちと交流会を重ねるうちに、新しい校舎に通うのを楽しみにするようになりました。子どもは子どもなりに、いろいろな考えを持っているでしょうね。

私たち親も子どもたちに負けないよう新たなスタートを切りたいと思います。子どもたちには「何があっても、あなたたちの味方であるから頑張っただけ」ということを伝えたいですね。

森小・幼稚園への熱い思いまとめる 地区の方々にも見ていただきたい

地域の子どもたちは地域で育む 統合してもその理念は変わらない

森地区子ども会育成会の会長をしていることもあつて、統合準備委員会の委員長になりました。昨年9月に準備委員会が発足し、統合までの時間がない中、検討・準備を進めてきました。

森地区は、地域全体で子どもたちを育む体制が確立されていると思っています。森地区子ども会育成会の事業のほとんどが、コミュニティ推進協議会をはじめとした各種団体との共催で行われています。このことは他地区にはない森地区独特の形態です。諸先輩方が試行錯誤の末築き上げてきた貴重な財産といえます。

森小学校を核として森地区のコミュニティが形成。みんなが「おらほの学校」との思いを持ち、学校の環境整備をはじめ、さまざまななかたちで139年間、世代をつなぎ関わってきました。

平成25年度から佐沼小学校と統合になりその核を失うことは、森地区にとって過去に経験したことのない変革を求められることでもあります。今こそ、これまで培ってきた



森小学校・佐沼小学校統合準備委員会
こう
委員長 鈴木 香 さん
(迫町・西表)

特集 さよなら。 森小学校

地区住民の絆の強さが試されるときではないでしょうか。森小学校がなくなっても、地区の将来を支える児童・生徒がいなくなるわけではありませぬ。これまでどおり「地域の子どもは地域全体で育む」の理念のもと、これから地区事業の中に子ども育成事業を取り入れていくことが、不可欠な要素だと改めて感じています。

今後、森地区の子どもたちが、佐沼小学校という大きな集団の中で萎縮することなく伸び伸びと学業に励めるよう、森地区全体で佐沼小学校や地区PTAと今以上に良い連携を再構築することが必要です。そのことが「森っ子」を育む私たち地域の役割だと思っています。



森小学校、佐沼小学校のPTA、地区住民、学校、市関係者らでつくる統合準備委員会。昨年9月に発足し、統合に向けて検討・準備を進めてきました

森小で学んだことに 自信と誇りを持って

私は昨年の4月にこの森小学校に赴任しました。それ以前は県の生涯学習課にいて、学校と地域のつながりを推進していました。森地区では、それがすでにできていました。地域と学校の関わりが非常に強いところです。学校と地域の行事が繋がっていて、地域と学校が共に子どもの健全育成をしている環境は特筆すべき点です。

子どもたちにとって森小学校での生活は、少人数の学校ゆえに人のつながりが非常に濃密であったといえます。毎日地区ごとの集団登下校がありました。上級生は下級生の面倒を見て、下級生はそんな



森小学校
高橋 弘一 校長

上級生に憧れました。4月から佐沼小学校に通う子どもたちには、森小学校で学んだことに誇りと自信を持ち、新しい校舎で新しい友達をつくって頑張ってほしいですね。

慣れない環境で戸惑うことはあるでしょう。そうした課題は、ここで培った力をもって取り組めば解決できるはず。みんなの成長を見守っています。

学年関係なく みんな仲良し



飯塚 竜也 くん
(6年・赤沼)

森小学校は、児童数が少ないので、同じ学年だけでなく下級生までみんな知っています。優しい人がいっぱいいて、学年関係なくみんな仲良しです。森小学校の6年間で、楽しい思い出がたくさんできました。

新しい友達を たくさんつくりたい



太田 ひより さん
(5年・平柳)

4月から通う佐沼小学校に行ってみました。校舎がすごく大きくて迷いそうでした。佐沼小学校では、新しい友達をたくさんつくりたいです。みんなで仲良く、いろいろな人と話するのが楽しみです。

森小学校 校歌

作詞 菊池 新
作曲 海老名 仁平

一 山は北上のぼる日に
希望はもゆる 雲のいろ
この空平和の 光にみちて
われらは学ぶ すこやかに
ああ すこやかに学びゆく
わかい命に 誇りあれ

二 川は迫の 水清く
総り豊かな ふるさとの
この土祖先の 心を伝え
われらは励む たゆみなく
ああ たゆみなく励みゆく
わかい命に力あれ

三 風はかがやく おかの上
花はかおるよ 学び舎に
この窓明るい 未来をよんで
我等は磨く ひとすじに
ああ ひとすじに磨きゆく
森小学校に 榮あれ

(昭和37年11月1日制定)



ありがとう。 森小学校

感動いっぱい、海外体験

ジュニア大使コース参加者 [オーストラリア]

- 団長 西條 多美子 (津山町・横山6)
- 団員 亀卦川 玲美 (佐沼中3年)
- 小野寺 千佳 (石越中3年)
- 金野 莉紗 (石越中3年)
- 阿部 葉名 (南方中3年)
- 山形 彩日 (津山中3年)

人との出会いとつながり



亀卦川 玲美さん

市の少年海外派遣事業でオーストラリアに行かせていただき、生活や文化、日本との違いなど、たくさんのご経験を学ぶことができました。ま

た、多くの人との出会いがありました。今思い返してみても、その人たちの出会いは単なる偶然ではなかったのだと思います。この広い地球の中で、姿かたちは違っても、人とはどこかでつながっている。だから「出会い」がたくさんあるのだと思います。ここでの出来事は、全て私の「思い出」と「経験」という財産になりました。関係者、両親への感謝を忘れず、どんな小さなことにも学んだことを生かしていきたいです。

国際交流を通じて時代を担う人材を育成していこうと市が実施している少年海外派遣事業。今年度計画している三つのコースのうち、ジュニア大使コース（オーストラリア）とジュニア友好コース（カナダ）が実施されました。

Canada

カナダ：平成24年10月30日～11月8日

オカナガン湖の展望台で



現地のレストランで親日派のオーナーと

オーストラリア：平成24年10月31日～11月7日

Australia



現地の学生との交流



あいさつに心温まる



大内 彩さん

私は、今回の派遣でとても心に残ったことがあります。それは、あいさつやお礼の言葉の温かさです。私が少し何かしてあげるだ

ジュニア友好コース参加者 [カナダ]

- 団長 佐々木 清公 (登米町・入谷)
- 団員 高橋 巧 (佐沼中2年)
- 西澤 芽里 (佐沼中2年)
- 佐藤 裕香 (登米中2年)
- 大内 彩 (中田中2年)
- 川村 玖美佳 (米山中2年)

けで、必ず「ありがとう」と言ってくれたり「おやすみ」をわざわざ私の所に来て言ってくれたりして、そのたびに心が温かくなりました。それが私には全然できていなかったと思うので、良い勉強になりました。

意欲的に学び体験した生徒たち まいた種を大きく花開かせてほしい

私にとって重責ではありませんが、結果として雄大な異文化に触れ、また多くの人との出会いの旅となりました。

これまで6度の渡航経験の半分は中学生の引率だったものの、今回のように団長として一人で引率するのも、オーストラリアに行くのも初めてでした。多少なりともプレッシャーはありましたが、研修では団員の中学生5人の自主性を尊重し、仲

良く楽しく、そして無事に帰国するという目標を自分の中では立てていました。振り返ってみると、いろいろな人に支えられ、良い研修ができたと思っています。

オーストラリアは今、夏が近づき、木々や花々が輝きだす季節を迎えています。メリバラに向かう途中には、サトウキビ畑や牧場が広がり、豊かな自然に恵まれた広大な土地で、人も動

ジュニア大使派遣 (オーストラリア)

団長 西條 多美子さん



物ものびのびと暮らしているような印象を受けました。向こうではさまざまなお店で温かく出迎えていただきました。

た。ホームステイでも、生徒たちはホストファミリーとのたくさんのお出掛けが、貴重な体験ができたと思います。語学のみならず、風土や生活習慣の違いを体験するというのも、どれほどの刺激になったことでしょうか。

この貴重な体験によって子どもたちは出発前よりさらに一回り大きくなったようです。この研修を通し、生徒たちには良い種がまかれたに違いありません。その結果が出るのは何年も先のことになるでしょうが、生徒たちにまかれた種は確実に育てていきたいと思います。大きな花を咲かせてほしいですね。参加した生徒たちには、今後いかに交流を継続していくかを期待しています。今はその手伝いができただけをうれしく思います。何よりもこの素晴らしい機会を与えていただいたことに感謝しています。

あの東日本大震災からまもなく2年を迎えます。大きな被害とともに私たちの心にも傷を与えたあの日を忘れないために、一つの作文を紹介します。平成24年度みやぎ仕事作文コンクール（宮城県主催）で最優秀賞に輝いた登米市立登米中学校2年の佐藤伸さんの作文です。

みやぎ仕事作文コンクール最優秀賞

「父の背中を追って」

僕には今、どうしても叶えたい夢がある。それは消防士になることだ。

あの震災によって、ぼくの住む街は大きな被害を受けた。町民の誇りである尋常小学校の校舎のガラスが割れ、電気や水などのインフラも大打撃を受けた。もちろん信号も停止し交通網も混乱を極めた。

しかし、それ以上の悲劇に見舞われた場所が身近にあった。それは、隣町である南三陸町である。30分超にも達する大津波に襲われるという未曾有の大災害により、南三陸町は壊滅的な被害を受けた。大量の土砂や瓦礫で道は寸断され、一時は完全に孤立した隣町であったが、そこに徒歩で救助に

向かった人々がいた。僕の父もその一人である。

街の消防団員として現地入りした父は、見なれたはずの街並みの変わり果てた姿に言葉を失ったという。

そんな動揺を押し隠しながら、父は生き残った方を背負い、歩ける方を連れ、徒歩で登米町を目指した。力尽きて道端に倒れている方、信じられないほど高い木の上で命を落としている方。その道のりは凄惨を極めたという。父は、同行した方々を努めて明るく励ました。ながら、夜通し救助を続けたのだ。

町でも早速、混乱の收拾に向けて動き出した人々がいた。既に沿岸部から内陸へ、また内陸から沿岸部へとたくさん車が通過し始めていたのだが、止まった信号機の代わりに車の誘導をする人が現

れた。また、避難者の受け入れ態勢を整え始める人も大勢現れ、呼びかけ一つですぐにたくさん布団が集まった。

後で聞いた話だが、沿岸部で働く家族の消息がつかめていなかったにも関わらず、そういった活動に参加していた人もいたのだという。多くの人は、自分の家の片付けも後回しで周りの人のために動こうとしていた。

当時小学生だった僕は、父が、そして町の大人たちが奔走する姿を目の当たりにし、自分にも何かできることはないだろうかと考えた。僕は近所の避難所で働く大人たちの手伝いをするに決めた。「とても助かるよ」と言っていただけことができ、嬉しかった。

だが、文句ひとつ言わずに体を張って救助を続けている父を思うと、無力な自分が悲しかった。もつと人を救う力が欲しい。この瞬間にも尽きようとしている命があるかも知れないのに。僕はそんな思いに囚われ、いてもたってもいられなかった。早く大人になりたいと思った。父の背中が大きく、そして遠く感じられた。

あの日から2年が過ぎようとしている。僕は今、中学2年生だ。消防士になりたいという思いは次第に強くなっている。夢の実現に向けて体や心を鍛えようと、毎日野球に打ち込んでいる。苦手を勉

強も頑張っている。

この秋、僕は生徒会長に選ばれた。責任は重いが、皆の為にできることがあれば、全力で取り組みたいと思ったのだ。楽しく、明るく、そしていざとなれば自分より相手のことを考えて助け合える、そんな学校にしたい。僕の誇りである登米町の人々がそうであるように。

自分の将来を思う時、いつも心に浮かぶ光景がある。それは、ずぶ濡れのお年寄りを背負い、明るい言葉で励ましながら、懐中電灯の明かりを頼りに真っ暗な峠道を歩く父の後ろ姿だ。

父の救った命を思う時、僕の鼓動は熱く高鳴る。そしてそんな事に就きたいと願う。災害から人の命を救いたい。父の背中が、消防士になりたいという目標に気付かせてくれた。

父の肩越しに、僕の進むべき道がはっきり見える。その先に、救いたい命が待っている。その道りは果てしなく続く。だが、僕はこれからもたゆまず歩いていく。まだ遠い、父の背中を追って。



佐藤 伸さん
登米町・宿小川／拓夫さん方

あの日を 忘れない。

東日本大震災、津波被害で壊滅的な被害を受けた南三陸町で捜索活動をする登米市の消防士（平成23年3月18日）

火災から、

「自分の大切」を守る。

誰もが起こしたくない、被害にあいたくないと思う「火災」。しかし、市内ではここ数年建物火災の件数が増えています。自分たちの大切な命や財産を火災から守るにはどうしたらよいのでしょうか。



表① 平成 24 年月別出火件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H24	3	4	9	7	4	2	4	4	4	5	4	4	54
H23	4	4	8	19	6	6	3	2	2	4	4	1	63
H22	5	2	5	6	1	4	5	4	6	1	6	1	46
H21	5	3	4	11	5	3	4	3	5	3	2	2	50
H20	2	9	12	13	4	8	3	2	2	4	7	3	69

表② 火災種別件数

	建物	林野	車両	その他	合計
H24	32	1	3	18	54
H23	29	7	4	23	63
H22	18	5	9	14	46
H21	26	1	6	17	50
H20	33	3	5	28	69

表③ 死傷者の発生状況

	死者	負傷者	合計
H24	2	4	6
H23	0	4	4
H22	3	6	9
H21	2	10	12
H20	2	5	7

表④ 平成 24 年火災発生状況

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	合計
建物	13	1	2	5	3	3	1	4	0	32
林野	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
車両	1			1				1		3
その他	5	2	1	1	2	1	2	3	1	18
合計	20	3	3	7	5	4	3	8	1	54

表⑤ 町域別出火件数

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	合計
H24	20	3	3	7	5	4	3	8	1	54
H23	14	3	2	15	7	10	4	5	3	63
H22	15	0	2	14	3	4	2	4	2	46
H21	13	5	1	9	4	8	4	5	1	50
H20	16	5	6	11	6	10	5	2	8	69

▶ 住警器には、煙感知型と熱感知型の2種類があります。逃げ遅れを防止する面では、煙感知型が有効です。設置場所は、壁か天井になります。
▶ 最近では、居間、寝室や台所など、複数の部屋に設置したものを連動させ、一気に火災発生を知らせる無線連動型などが販売されています。それぞれの用途に合わせて選んでください。



用火災警報器（以下、住警器）があります。住宅火災による死者数の低減を目的に、平成16年に消防法が改正、同18年から施行され、戸建住宅、アパートやマンションなどに住警器の設置が義務づけられました。

現在、市内の普及率は86%（23年6月現在）で、まだ設置していない世帯があります。「台所」「全寝室」「階段」条などおりの適正な設置とすると設置率は約30%で、さらには低くなっています。

なぜ住警器が逃げ遅れ対策に有効なのでしょう。火災はいきなり火が大きくなるわけではなく、まず煙が出て火種がくすぶり続け、ある温度に達すると突然火が大きくなります。火が大きくなるまでにはある程度時間があるため、煙を感じた住警器が反応し、住人が早い段階で火災に気付くことができます。

早い段階で火災に気付けば、消火作業などの行動が起きます。そして外に逃げる時間もつくれるのです。住警器を

設置することは火災から命と財産を守ることにつながります。以上のことから、住警器の設置が必要なのです。ただし、住警器を設置したからといって、必ずしも万全なわけではありません。病氣と一緒に、一番大切なのは起こさないよう予防することです。常日頃から身の回りや行動を点検しておかなければなりません。それが命や財産といった「自分の大切」を守ることにつながっていくのではないのでしょうか。

Interview



登米市消防本部予防課
あきひろ
佐々木章弘課長補佐

住警器はいざというときのための大事な保険

住宅火災の際に気を付けなければならないのは、「逃げ遅れないこと」。煙を吸い込み一酸化炭素中毒で動けなくなるからです。最近の住宅やアパートは高气密、高断熱化が進んでいます。住んでは非常に快適ですが、火災の際は有毒ガスや煙が室内に充満しやすいのです。つまり、新しい住宅やアパートほど、逃げ遅れることが致命傷となってしまうのです。

火災はいきなり火が大きくなるものではありません。燃え始めの煙が出て間もない段階であれば、被害は最小限で済み、人が命を落とすことはありません。しかし、深夜、家族全員が寝ている状態だと、なかなか火災発生に気

付きません。そこで、人に代わって、いち早く火災に気付いてくれるのが住警器です。本市でも、住警器が鳴り、火災発生にいち早く気づき、軽い程度のぼやで済んだという事例がありました。住警器を設置することで、大切な命と財産を守ることができるのです。

新築の住宅やアパートは必ず住警器を設置していますが、既存の建物については皆さんが設置しなければなりません。住警器は「法律で義務化されたから設置する」ものではありません。皆さんの大切な命と財産を守るために、設置するものだと思います。自分たちの命と財産は自分たちで守る。そのため保険として住警器はあるのです。

近年増加している住宅火災新築住宅・アパート要注意

3、4月は、非常に空気が乾燥し、風が強くなるため、火災が発生しやすい季節です。本市でも3、4月は火災の発生率が高くなっており、特に注意が必要になります【表①参照】。

近年火災の中でも、建物火災は全国的に増加の傾向にあります。本市も過去5年間で一度は減りましたが、ここ2年ほど増加傾向にあります【表②、⑤参照】。昨年本市で発生した火災全54件のうち、約60%に当たる32件が建物火災【表②、④参照】。その中でも、住宅火災の割合が増えてきています。

住宅火災が増加している原因としては、建築資材が昔と比べて変わってきたことや、住宅内に置かれるものに、プラスチックなどの石油製品が増えていることが考えられます。また、建築資材や技術の進歩に伴い、建物の密閉度が上がっています。快適な生活ができる反面、火災時にはガスや煙が発生しやすく、室内に充満しやすい構造になっているのです。

内での火の取り扱いは、これまで以上に注意を払っていく必要があります。

火災での命取りは逃げ遅れ煙に巻かれると脱出が困難

火災発生時に焼死者が出る原因で一番多いのはいわゆる「逃げ遅れ」。「火災の発見が遅れ、気付いたときには逃げ道がなかった」や「煙から逃げられなかった」など、火災時の死因の約7割を占めています（消防庁調べ）。本市でも昨年2人の焼死者が出ています【表③参照】。住宅火災は夕食の準備時間と深夜に多く発生します。深夜は就寝中のため火災の発生に気付かないことが多く見られ、気付いたときには手遅れということも少なくありません。

火災で一番怖いのは煙に巻かれることです。火災での犠牲者のほとんどは、煙を吸い込んだことで一酸化炭素中毒になり、動けなくなったり、死亡したりしているのです。逃げ遅れの一番の原因は煙だということをお忘れなくください。

大切な命を守るツールが住警器
火災は病氣と同じで予防を
逃げ遅れを防ぐために住宅

成功させよう！

仙台・宮城 デステイネーション キャンペーン(DC)

4月1日から6月30日まで、
大型観光キャンペーン「仙
台・宮城デステイネーション
キャンペーン(DC)」が開
催されます。DC期間中
は、県内各地で多くの特別企
画、イベントが予定されてい
ます。今月号では、登米市内
で行われる主な取り組みを紹
介します。

笑顔咲くたび 伊達な旅 仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

DC 登米市オープニング イベント

4月から始まるDCに先駆
け、3月31日(日)に登米市
オープニングイベントを開催
します。登米町の教育資料館
(旧登米高等尋常小学校)や
遠山之里周辺を会場に、登米
市の観光を広くPRします。
ステージイベントや食のイベ
ント(おにぎり屋台村、伊達
な鍋まつり、新商品のお披露
目や軽トラ市など)、スタン
プラリー出発式も行います。

登米風土(Food) 博覧会

地域の「食」の充実・掘り
起こしをテーマに、DC期
間中の登米市最大のイベン
トとして4月27日(土)・28
日(日)・29日(祝)の3日
間、長沼フットピア公園を会
場に開催します。昨年も開催
した「Rice・1グランプリ
(お弁当・どんぶり・おに
ぎり・寿司)」や「登米サン
ドグランプリ(サンド・ドッ
グ・バーガー)」、「登米スー
ッパラダイス(洋菓子・和菓
子)」が開催されるほか、今
年は伊達なお土産コンテスト
やステージイベント、また長

感謝祭 登米ファイナルイベント

DC期間の登米市での最後
を飾るイベントとして、6月
30日(日)花菖蒲まつり開催
中のみなみかた花菖蒲の郷公
園を会場にファイナルイベン
トを開催します。DC期間中
の感謝祭として実施するイベ
ントでは、登米風土博覧会で
各部門(Rice・1グラン
プリや登米サンドグランプリ
、登米スーッパラダイ
ス)において入賞した商品を
提供します。また、ステージ
イベントやキャラクター弁当
コンテスト上位入賞者への表
彰式も行います。

沼観光遊覧船を周航しますの
で湖上からイベントを見るこ
とができます。



昨年春の登米風土博覧会には約2万人の客が訪れ、たくさんの笑顔でにぎわいました

登米市で 観て・買って・食べて 当たりまスタンプラリー

市内の観光施設や飲食店、
物産直売所や宿泊施設などを
利用するとスタンプを押して
もらい、貯まると抽選に応募
して豪華景品が当たるスタ
ンプラリーを実施します。ス
タンプラリー参加店は、チ
ラシなどでお知らせします。

北上川クルーズ

北上川クルーズを5月5日
(日・祝)に行います。登米
から乗船し、豊里までの船
旅では、雄大な北上川から新
緑の風景を楽しむことがで
きます。



なかなかできない体験です。この機会をお見逃しなく

キャラクター弁当 コンテスト

登米市産の食材を使用して
キャラクター弁当を作成して
いただき、コンテスト形式に

より最優秀賞を決定します。
4月から募集を開始し、フ
ァイナルイベント当日に表彰
式を行います。

ハイカラさんデー

みやぎの明治村のレトロな
雰囲気の街並みの中、ハイカ
ラさんが4月から6月まで毎
週日曜日に登場します。観光
客をお迎えして一緒に写真
撮影を行ったり、スタンプラ
リー参加者へスタンプを押し
たりします。また、衣装の貸
し出しも行いますので、ハイ
カラさんの格好でみやぎの明
治村の街並みを散策すること
ができます。(貸衣装は有料)

花見周遊バスの運行

桜と観光名所を巡る市内周
遊無料バスを今年も運行しま
す。市役所迫庁舎、長沼フ
トピア公園、鹿ヶ城公園、平
筒沼ふれあい公園、みやぎの
明治村や各道の駅など花の名
所を巡回しながら買い物も楽
しめます。(4月20日・21日、
27日・29日運行)

タクシーで 観光地巡り

みやぎの明治村を起点とし

た市内の観光地を、貸切タク
シーに乗って巡ります。(所
要時間3時間)

①歴史散策コース(津山町方 面) ②歴史文化コース(中田 町・東和町方面)

レンタカー利用者に キャッシュバック

新幹線駅(古川駅・くりこ
ま高原駅)からレンタカーを
利用して登米市に観光に来
るお客様が、市内で一定額以上
の買い物や宿泊した場合、ポ
イントに応じて利用料金の
キャッシュバックサービス
を実施します。

くりこま高原駅から 臨時バスを運行します

くりこま高原駅から登米市
までの交通アクセスを向上さ
せるため、4月から6月まで
往復臨時バス(1回500
円)を運行します。くりこま
高原駅から市役所迫庁舎、中
田総合支所を経由してとよま
観光物産センターを結び1日
6往復(12便)運行します。

宿泊施設で ちよっぴりサービス

市内の宿泊施設を利用して
宿泊された方に、ちよっとし

たサービスがあります。サー
ビス内容については、各宿泊
施設によって異なります。

観光キャラクター 「はっとん」が登場

登米市に新しく登場した観
光キャラクター「はっとん」。
登米市の観光PRのため、市
内各地のイベント会場に登
場して盛り上げ役として活躍
します。



(はっとん)

DC特別企画

●石ノ森章太郎ふるさと記念 館 春の特別展

DC期間にあわせて、石ノ
森章太郎ふるさと記念館では
特別企画展を開催します。今
回は銀河鉄道999など数々
の作品で有名な、松本零士先
生の特別企画展を開催します。

●登米市高倉勝子美術館「桜 小路」春の特別企画展

みやぎの明治村武家屋敷通
りの桜の開花時期に合わせて、
「春の特別企画展」として、
登米町出身高倉勝子が描く春
の情景や、故郷の風景などの
作品を中心に展示します。

DC期間イベント・ その他祭り行事一覧

- ・佐沼桜まつり(4月中旬～下旬)
- ・平筒沼ふれあい公園桜まつり(4月中旬～下旬)
- ・みなみかた千本桜まつり(4月中旬～下旬)
- ・柳津虚空蔵尊春季大祭(4月12日(金)、13日(土))
- ・横山不動尊春季大祭典(4月27日(土)、28日(日))
- ・とよま茶会(4月29日(月・祝))
- ・米山チューリップまつり(4月下旬～5月上旬)
- ・不老仙館日本庭園きりしまつつじ観賞(5月下旬～6月上旬)
- ・キリシタンの里まつり(6月1日(日))
- ・登米芭蕉祭俳句大会(6月23日(日))
- ・みなみかた花菖蒲まつり(6月下旬～7月上旬)
- ・鱒淵川源氏ポタル観賞(6月下旬～7月上旬)

【問い合わせ】産業経済部商工 観光課(観光物産係)

☎0220(34)2734
■なお、DCの情報はホーム
ページからもご覧になれま
す。
<http://www.sendamiyagdc.jp>

全国大会への決意語る 津山中野球部が出場報告



全国大会出場報告会では部員一人一人が力強く決意を述べました



1、2年生合わせて12人の部員数ながら、予選を勝ち抜き全国大会への出場を決めた津山中野球部

昨春秋に開催された、第4回全日本少年春季軟式野球大会東北大会で優勝し全国大会への出場を決めた津山中中学校野球部で、布施孝尚市長への報告会が開催されました。

2月10日に同校で開催された報告会には選手や監督、保護者らが出席。12人の部員一人一人が布施市長に全国大会への決意や目標を語りました。

布施市長は「皆さんから力強い決意を聞いた。部員数は少なくても相手に臆することなく正々堂々戦い抜いてください」と激励しました。

全国大会は3月22日から静岡市で開催されます。津山中は、初戦で千葉県の白井市立大田口中学校と対戦します。

若者の活動成果披露 第8回登米市青年文化祭



南方町青年会は、ご当地ヒーローの「大獄戦隊もこレンジャー」で会場を沸かせました

市内で活動する青年会の芸術文化の発表の場として今年8回目を迎える登米市青年文化祭が、2月3日に開催され



迫町青年会は郷土芸能の佐沼鹿踊を披露

ました。今年の会場は石越公民館。大会テーマは開催地になんで「意志超祭(いしこしさい)〜ふみだそう!始めるための一歩」です。

今年もそれぞれの地域の青年会が日頃の活動の成果を発表。郷土芸能(創作芸能)の部では迫町青年会が佐沼鹿踊を、豊里町青年会がスコップを楽器にした「スコップ三味線」をそれぞれ披露。舞台発表では南方町青年会がご当地ヒーローの「大獄戦隊もこレンジャー」を披露するなど、若者らしい文化祭となりました。



強風に負けず、手作り風が北上川の上空を舞いました

第50回大会に68組参加 手作り風、天高く

今年で50回目となる「よまふあげ大会」が2月3日に開催。会場の北上川堤防には子どもから高齢者まで約240人が集まりました。風あげに参加したのは、年代ごとに幼児の部、小学生低学年、中学年、高学年、一般の部の5部門68組です。

当日は晴れたものの風が強く、風をあげるには少し厳しい状況。それでも参加者は手作りした風を、それぞれ北上川に向かってあげ、糸を操っていました。

大会では、部門ごとに「微笑ましいで賞」「アイデア賞」「デザイン賞」「高く上がったで賞」の審査・表彰が行われました。



大会では、風のあがり具合やデザインが審査されました

県警本部長から賛辞 交通死亡事故ゼロ6カ月達成

市では、今年1月31日をもって、市内における交通死亡事故ゼロ6カ月を達成。このことに対し、県警本部長から賛辞が贈られました。

2月1日に市役所で行われた伝達式には、市や市内交通安全関係者など約10人が出席。佐沼警察署の内海裕之署長が布施孝尚市長に賛辞を伝達し

「死亡事故ゼロ6カ月の達成は市と関係機関の努力のたまもの」と述べました。

布施市長は「交通事故は被害者だけでなく、多くの人が人をつらくないよう関係機関一体となって努力したい」と、

いつそうの取り組みを誓いました。

多くの命救う救急車

寄付の(株)ウジエに感謝状

食品流通・販売を市内外に展開する株式会社ウジエスパー(氏家長典社長)が市に救急車1台を寄付。市では2月1日に感謝状を贈りました。

同社が、昨年2月に収益の一部2000万円を救急車購入の資金として市に提供し、市が車両を購入したものです。車両は高規格救急車といわれ

るもので、監視モニターや人工呼吸器などを備えています。同社で行われた感謝状の贈呈式で布施孝尚市長は「今回の救急車整備は、われわれにとっても市民にとっても大変心強うれしいこと」と謝意を述べました。寄付された救急車は市消防署に配備されます。



寄付された高規格救急車(左から布施市長、(株)ウジエの氏家長典社長、市消防本部の菅原輝雄消防長)



県警本部長の賛辞を手にする布施市長(中央)と市内交通安全関係者

3月は自殺対策強化月間です

支え合おう 心といのち

私たちができること・・・

まずは、声をかけ合うことから始めてみませんか？



気づき

家族や仲間の変化に気づいて、声をかける。

傾聴

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。

つなぎ

早めに専門家に相談するよう促す。

見守り

温かく寄り添いながら、じっくりと見守る。

ひとりで悩まず、相談を！

♥登米いのちホットテレホン

☎ 0120 (870) 108 (24時間受付)

♥登米市多重債務者無料法律相談

(予約) 登米市消費生活相談窓口

☎ 0220 (34) 2308

♥心の元気相談室

毎週月曜日・火曜日・金曜日

午前10時～午後5時

(場所) 登米市民病院 ※予約制・無料

(予約・問い合わせ)

各総合支所市民課または市民生活部健康推進課

☎ 0220 (58) 2116

♥こころの相談

広報とめ21日号をご覧ください。

【全国の取り組み】

♥全国一斉こころの健康相談統一ダイヤル

☎ 0570 (064) 556

午前8時30分～午後5時15分(土曜・日曜・祝日除く)

♥よりそいホットライン

☎ 0120 (279) 338 (24時間受付)

※ガイダンスで専門的な対応も選べます。(外国語含む)

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係) ☎ 0220 (58) 2116

「登米市上水道事業運営審議会」委員を募集

市水道事業所では、上水道事業に関する重要事項を審議していただく「登米市上水道事業運営審議会委員」を下記のとおり募集します。

【募集人員】3人

【応募資格】

①市内に住所を有し、平成25年1月1日現在で満20歳以上の人

②水道事業に関心があり、意見を述べられる人

③市の職員および市議会議員でない人

【任期】委嘱の日から2年間

【役割】水道事業管理者(市長)の諮問に応じ、上水道事業に関する重要事項の審議をします。

【会議回数】1年間に3回程度(原則として平日、公開で実施)

【応募方法】次の事項を記載した「応募申込書」と「作文」を持参または郵送で、水道事業所水道管理課(市役所登米庁舎1階)に提出してください。

1.住所・氏名・性別・電話番号・生年月日

2.職業・勤務先

3.経歴(職歴・学歴など参考となる事項)

4.応募動機

※応募申込書は任意様式とします。

※作文は「水道事業について」と題し、400字程度にまとめてください。作文様式の定めはありませんので、原稿用紙などを使用してください。

【応募期間】3月1日(金)～22日(金)必着

【選考結果】応募者全員に通知します。

【応募先・問い合わせ】

水道事業所水道管理課(経営管理係)

☎ 0220 (52) 3313

〒987-0702 登米市登米町寺池日子待井381番地1



●登米市グリーン・ツーリズム推進協議会では会員を募集しています！
子どもたちを自分の家に宿泊させて、農作業や家事手伝いなど農家の暮らしを体験してもらいます。
特別なことをする必要はありません。普段の仕事を手どもたちと一緒に楽しみながら作業してみませんか。同じ会

【申込方法】電話
【申込期限】3月22日(金)

【年会費】1000円

【申し込み・問い合わせ】

登米市グリーン・ツーリズム推進協議会事務局(産業経済部商工観光課内)

☎ 0220 (34) 2734

- ①岩沼市立岩沼中学校
5月15日(水)・16日(木)
1泊2日
- ②北海道登別市立登別中学校
5月21日(火)・22日(水)
1泊2日
- ③神奈川大学附属中学校
8月2日(金)～4日(日)
2泊3日

【受け入れ人数】1戸当たり3～5人程度
【体験料】
▼1泊2日＝1人当たり6000円
▼2泊3日＝1人当たり1万2000円
※ほか消耗品費として1戸当たり3000円が支払われます。

【年会費】1000円
員の仲間たちも待っています。



宿泊農業体験学習(ファームステイ)

受け入れ農家を募集

登米市グリーン・ツーリズム推進協議会では、平成25年度に中学校3校のファームステイ受け入れを予定しており、その受け入れ農家を募集します。

登米市長選挙・市議会議員一般選挙

立候補予定者説明会

市長選挙および市議会議員一般選挙の告示を4月14日(日)に、投票・開票を4月21日(日)に行います。
市選挙管理委員会では、立候補予定者を対象に説明会を開催します。

- ◆日時 3月22日(金)午後2時～
- ◆場所 迫公民館2階(軽運動場)
- ◆対象者 立候補予定者およびその関係者(1候補2人以内)
- ◆内容 立候補届の手続き、選挙運動の注意事項など
※説明会当日、立候補届出用紙などをお渡しします。

【問い合わせ】市選挙管理委員会事務局 ☎ 0220 (22) 2198

議員定数が削減されます

登米市議会は平成25年2月5日の定例会で、議員定数を現行の30から26に4減する議員発議の条例改正案を、原案通り賛成多数で可決しました。

4月の市議会議員一般選挙から適用されますのでお知らせします。

【問い合わせ】市議会事務局 ☎ 0220 (22) 1913

【防火標語】

消すまでは
出ない行かない
離れない

平成25年春季火災予防運動が全国一斉に実施されます。市消防本部では、次の4項目を重点目標に掲げ、火災予防運動を実施します。

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 林野火災予防対策の推進
- ③ 特定防火対象などにおける防火安全対策の徹底
- ④ 車両火災に対する防火安全対策の徹底

市民の皆さんには、次のことについて注意していただくようお願いいたします。

- ▼ 寝たばこは、絶対にやめる。
- ▼ ストロープは、燃えやすい物から離れた位置で使用する。

▼ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【四つの対策】

- ▼ 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ▼ 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ▼ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
- ▼ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。



春は、空気が非常に乾燥する上、強風の日が多くなりやす。登米市の大切な森林を守るため、たき火などをする場合には次のことに注意してください。

- ▼ 必ず消防署に連絡する。
- ▼ 必ず消火器具などを用意する。
- ▼ 必ずその場を離れない。
- ▼ 風が強くなってきたらすぐ中止する。
- ▼ 風が強いときは絶対しない。

皆さんは、ホテルなどに宿泊する際、非常口の説明を受けて避難経路の確認をしますか。宿泊施設によっては説明のないこともありますので、自ら確認して安全を確保してください。

安全で安心できる暮らしは、自分自身でもできます。火災・防災についても一度周りを確認してみましょう。

【問い合わせ】消防本部予防課（予防建築係）
☎ 0220（22）1900

シリーズ 火災原因調査から

⑥ 農薬の自然発火

皆さんは、農薬から火災になるといふことを、ご存じですか。登米市は農業に従事している方の割合が多い地域です。そのため、農作物を生産するために使用した農薬の保存管理の不備により火災になることがあります。たとえば、農薬（ダイアジノン）を木箱に入れ、約一年前から納屋入口の直射日光が入る場所に保管していたため、中に入っていた自然発火性物質のダイアジノンが発火して火災になることがあります。



放置していた農薬から出火したもの

また、生石灰が水と接触すると、水酸化カルシウムとなり発熱します。このとき、可燃物と接触している、この可燃物が発熱によって出火することがあります。



放置していた生石灰に雨水が掛かり発熱し、着火したものの

【予防対策】

農薬の中には、生石灰（水酸化カルシウム）やダイアジノンといった、自然発火性物質があります。保管する際には直射日光を避け、風通しが良く湿気のない涼しい場所を選ぶことです。

【写真提供】公益財団法人東京防災救急協会（新火災調査教本 第4巻）

【問い合わせ】消防本部予防課
☎ 0220（22）1900

福島第一原子力発電所事故に伴う市内放射線の測定結果

市では市民の安全・安心を確保するため、学校や生活環境などで空間放射線の測定を行いましたので、その結果をお知らせします。

空間放射線量の測定結果（幼稚園・小中学校・社会教育施設など）

①測定方法/地上1m（幼稚園・小学校：地上50cm） ②測定機器：簡易測定器 ③単位：マイクロシーベルト毎時（1時間当りの放射線量）

町域	測定場所	測定日	天気	測定値	備考	町域	測定場所	測定日	天気	測定値	備考			
中田	森小学校	2月18日	くもり	0.07		中田	諏訪公園	2月20日	晴れ	0.07				
	森幼稚園	2月18日	くもり	0.07			宝江ふれあいセンター	2月20日	晴れ	0.06				
	佐沼小学校	2月18日	くもり	0.07			浅水ふれあいセンター	2月13日	雪	0.08				
	佐沼幼稚園	2月18日	くもり	0.07			中田海洋センター	2月13日	雪	0.05				
	佐沼中学校	2月18日	くもり	0.07			石森ふれあいセンター	2月13日	雪	0.07				
	東佐沼幼稚園	2月18日	くもり	0.07			中田生涯学習センター	2月13日	雪	0.08				
	北方小学校	2月18日	くもり	0.07			石ノ森章太郎ふるさと記念館	2月13日	くもり	0.06				
	北方幼稚園	2月18日	くもり	0.06			中田総合体育館	2月20日	晴れ	0.07	室内			
	新田小学校・新田中学校	2月18日	くもり	0.06			豊里幼稚園	2月14日	晴れ	0.07				
	新田幼稚園	2月18日	くもり	0.05			豊里小・中学校	2月14日	晴れ	0.07				
	歴史博物館	2月4日	晴れ	0.05			豊里公民館	2月7日	くもり	0.06				
	追公民館	2月4日	雪	0.05			豊里多目的広場	2月14日	晴れ	0.06				
	市民プール	2月4日	晴れ	0.06			平岡沼農村文化自然学習館	2月7日	くもり	0.09				
	視聴覚センター	2月4日	晴れ	0.08			豊里運動公園	2月14日	晴れ	0.06				
	追	光ヶ丘球場	2月4日	晴れ	0.05			豊里	米山東幼稚園	2月15日	雨	0.06		
梅ノ木グリーンパーク		2月4日	晴れ	0.06		米山東小学校	2月15日		雨	0.06				
大東公園		2月18日	くもり	0.05		米岡小学校	2月15日		雨	0.10				
追図書館		2月18日	くもり	0.05		米山中学校	2月15日		雨	0.07				
追海洋センター		2月18日	くもり	0.06		中津山小学校	2月15日		雨	0.07				
新田総合運動場		2月18日	くもり	0.06		米山西幼稚園	2月15日		雨	0.07				
追武道館		2月18日	くもり	0.07		善王寺コミュニティセンター	2月15日		雨	0.06				
登米		登米幼稚園	2月19日	くもり	0.05		米山		吉田公民館	2月15日	雨	0.05		
		登米小学校	2月19日	くもり	0.10				吉田運動場	2月15日	雨	0.08		
		登米中学校	2月19日	くもり	0.07				米山公民館	2月8日	雪	0.07		
		警察資料館	2月12日	晴れ	0.08				米山海洋センター	2月8日	雪	0.07		
		高倉勝子美術館	2月12日	晴れ	0.04				石越	石越幼稚園	2月20日	晴れ	0.07	
		登米総合運動公園	2月12日	晴れ	0.09					石越小学校	2月20日	晴れ	0.09	
		教育資料館	2月19日	くもり	0.09					石越中学校	2月20日	晴れ	0.07	
		伝統芸能伝承館	2月19日	くもり	0.08					石越公民館	2月20日	晴れ	0.10	
	登米総合体育館	2月19日	くもり	0.05		石越総合運動公園		2月20日		晴れ	0.09			
	登米公民館	2月19日	くもり	0.07		南方		西郷幼稚園		2月14日	くもり	0.06		
	米谷幼稚園	2月19日	くもり	0.08				西郷小学校		2月14日	くもり	0.06		
	米谷小学校	2月19日	くもり	0.08				東郷幼稚園		2月14日	晴れ	0.07		
	米川小学校	2月19日	くもり	0.07				東郷小学校		2月14日	晴れ	0.08		
	錦織小学校	2月19日	くもり	0.08				南方幼稚園		2月14日	くもり	0.07		
	東和中学校	2月19日	くもり	0.09				南方小学校		2月14日	くもり	0.06		
米川公民館	2月12日	晴れ	0.10		南方中学校		2月14日	くもり		0.07				
東和国際交流センター	2月12日	晴れ	0.08		南方中央運動広場		2月7日	くもり		0.07				
楼台コミュニティセンター	2月12日	晴れ	0.07		南方総合運動場		2月14日	くもり		0.06				
東和総合運動公園	2月19日	くもり	0.07		南方武道伝承館		2月7日	くもり		0.06				
東和勤労青少年ホーム	2月19日	くもり	0.06	室内	西郷公民館		2月14日	くもり	0.05					
中田	さくら幼稚園	2月20日	晴れ	0.06			南方公民館	2月14日	くもり	0.06				
	中田幼稚園	2月20日	晴れ	0.07			東郷公民館	2月14日	晴れ	0.06				
	浅水小学校	2月20日	雪	0.08			津山	つやま幼稚園	2月15日	雨	0.09			
	宝江小学校	2月20日	晴れ	0.07				柳津小学校	2月15日	雨	0.07			
	加賀野小学校	2月20日	晴れ	0.09		横山小学校		2月15日	雨	0.08				
	上沼小学校	2月20日	雪	0.09		津山中学校		2月15日	雨	0.09				
	石森小学校	2月20日	晴れ	0.09		津山林業総合センター		2月8日	雪	0.07	室内			
	中田中学校	2月20日	晴れ	0.08		津山運動広場		2月8日	雪	0.08				
	中田球場	2月20日	晴れ	0.07		津山河川運動場		2月8日	雪	0.08				

※国の基本方針で示された、追加放射線量の長期的な目標は年間1ミリシーベルト。1時間当りでは、地表から50cm～1mの高さで、0.23マイクロシーベルトとなります。

※保育所・児童館などの測定結果については、広報とめ3月21日号でお知らせします。

【問い合わせ】市民生活部環境課（生活環境係） ☎ 0220 (58) 5553

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

市では、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射線の影響について、より正確な情報をお伝えするため、市消防署および消防署出張所や学校、教育施設などについて定期的に空間放射線量を測定し、その結果を市ホームページに掲載するとともに、市消防署および消防署出張所の測定値を毎日メール配信サービスにて配信しています。

メール配信サービス
【登録方法】市ホームページから登録する方法と、携帯電話から右記の登録用メールアドレスを入力して登録する方法があります。
【情報料】無料
※ただし、登録やメール受信時の通信料や回線使用料は本人の負担となります。
【問い合わせ】総務部市長公室（広報広聴係） ☎ 0220 (22) 2090

登米市メール配信サービス
登録用URL・メールアドレス
■ http://tomecity.mail-dpt.jp/（公開サイト）
■ tome@entry.mail-dpt.jp（仮登録用アドレス）
上記仮登録用アドレスを入力し、空メールを送信してください。その後、仮登録完了メールが送信されますので案内にしたがって本登録してください。※右のQRコードで携帯電話から読み取りもできます。



中田

石ノ森章太郎メモリアルデー



▲訪れたファンと握手を交わす竹宮先生（左）

マンガ文化を楽しく体験

「石ノ森章太郎メモリアルデー」が1月27日、石ノ森章太郎ふるさと記念館で開催されました。このイベントは、石ノ森先生の誕生日（1月25日）と命日（1月28日）が1月であることから、毎年1月下旬の日曜日にマンガ文化に対する先生の偉業を後世に伝えようと開催しているものです。当日は、マンガ教室や親子たこ作り教室、餅つき体験など沢山のイベントが行われ、県内外からの多くの来場者で賑わいました。また、企画展が最終日となる竹宮恵子さんのサイン会も行われ、共に石ノ森先生の記念日を楽しんでいました。

迫

復興願いポスター寄贈



▲作成したポスターを寄贈する日野さん（左）

「書の力」で被災地支援

迫町佐沼出身の書家日野薫さん（仙台市在住）が1月21日、市役所迫庁舎を訪れ、東日本大震災からの早期復興を祈り作成した4種類のポスターを市に寄贈しました。この作品は、「書の力」で被災地を元気づけることができるといふ願いを込めて日野さんが作成したものです。9色の花はそれぞれの想い。真ん中のハートは前向きな気持ち。そして太陽は希望の象徴とされています。寄贈されたポスターは、多くの方にご覧いただけるように、市役所迫庁舎のロビーに展示しています。

雪山で交流を深める

豊里町内で活動するスポーツ少年団員と、ときめきキッズクラブ会員の交流を深めることを目的とした「そり遊び・スキー教室」が2月3日、大崎市鳴子のオニコウベスキー場で開催され、小・中学生とその保護者42人が参加しました。雪が降りしきる中、二つの班に別れ、そり専用の広場で思いっきり遊んだり、インストラクターからスキーの基礎などの指導を受けたりしていました。昼食時には、おいしい料理を囲みながら、そり遊びやスキー教室の話で大いに盛り上がり、終始にぎやかムードで交流を深めていました。



▲指導員の説明を熱心に聞く子供たち

そり遊び・スキー教室

豊里

地域振興と防災のために

平成28年度に完了予定の北上川下流日根牛地区築堤工事の安全祈願祭が2月1日、登米町日根牛地区で行われ、工事関係者や市職員、地域の方々など約40人が参加しました。祈願祭では、登米神社の春日宮司による神事が行われ、参加者は工事の安全を祈念するとともに、地域振興や防災など地域の将来に期待を膨らませていました。その後に行われた米谷地区安全施工推進大会では、北上川下流河川事務所から工事の概要や安全対策等について説明があり、無事故、無災害で早く安全に工事を完了することを誓いました。

日根牛で築堤工事安全祈願

登米



▲登米神社の春日宮司（左）から玉ぐしを受け取る布施市長

米山

新婚さんお祝い会を開催



▲新婚さんお祝い会に参加した皆さん

地域の伝統行事に8組

米山町の恒例行事となっている「新婚さんお祝い会」が2月3日、中津山公民館で開催されました。この行事は、米山町域で前年中に結婚した方々を招待し、地域の皆さんと交流をしながら、盛大に祝福しようと毎年開催されているもので、今年は8組の新婚さんが参加しました。地元「清水バンド」による演奏や新婚さんが二人で一緒にジュースを飲むラブラストローゲーム、大抽選会などが行われ、参加した新婚さんは、地域の皆さんからたくさんの祝福を受け、楽しい時間を過ごしていました。

東和

第1回錦織公民館まつり



▲錦織フラダンス教室の皆さんによるステージ

見事な作品や舞踊を披露

地区住民の親睦と融和を図ることを目的とした「第1回錦織公民館まつり（錦織地域振興会、錦織公民館主催）」が2月17日、錦織公民館で開催されました。作品展示コーナーには、錦織公民館を中心に活動しているサークルや保育園、小学校の皆さんの写真や絵画など素晴らしい作品が多数展示されました。また、ステージでは地域の皆さんによる舞踊やカラオケなどの芸能発表が行われ、出演された皆さんは日頃の練習の成果を披露していました。会場からは皆さんの拍手が送られ、楽しい一時を過ごしていました。

東和町米川の五日町地区に約800年前から伝わりとされる「米川の水かぶり」。火伏せの奇祭として長い歴史と伝統を受け継ぐ祭りが2月9日に開催されました。(25、27ページ)

わら装束の男衆。大慈寺での祈禱を終えて「神様の使い」となり、家々の火伏せに向かいます

受け継がれる 火伏せの奇祭

石越

石越中2年生が総合学習



▲市職員の説明を熱心に聞く生徒たち

震災後の対応を探る

石越中学校では、「総合的な学習の時間」の充実を図るため体験活動を取り入れています。今回は、東日本大震災時の避難所の様子や物資などの状況を学ぶため、2年生が石越総合支所を訪れました。実際に避難所の運営に携わった職員から避難所での生活状況などが説明され、物資や支援金がどのようにして被災者まで届くのかなど、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。石越中学校は震災で校舎が被災し、現在は石越総合運動公園に建築された仮設校舎で学んでおり、新校舎の建設が待たれるところです。

かるた遊びで郷土を学ぶ

第24回新春郷土かるた大会

南方



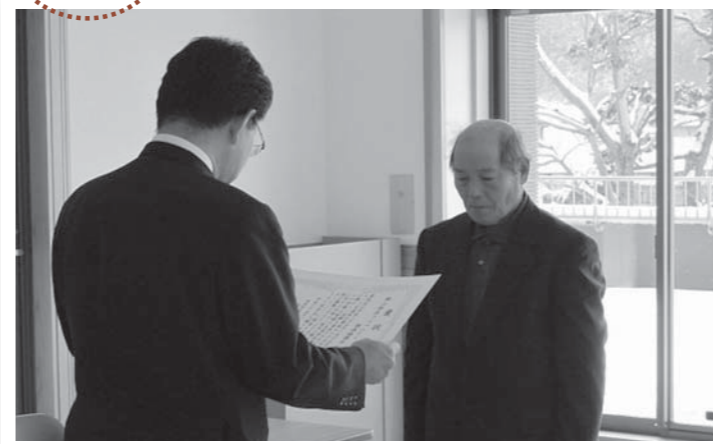
▲かるた遊びを通じて南方町を学ぶ

南方町の新春の恒例行事となっている郷土かるた大会が、南方農村環境改善センターを会場に開催されました。今年で24回目を迎える大会には、町内の幼稚園児、小学生92人が参加し、行政区ごとに行われる団体の部と個人の部で競技が行われました。郷土かるたは、南方町の歴史や史跡名勝、特産物などがイラストで描かれており、かるた遊びを通して楽しく地域を学ぶことができます。会場に漂う張り詰めた緊張感の中、札が詠み上げられると参加者は「はいっ」と元気な声とともに札を取り、各部門とも白熱した競技が繰り広げられました。

津山

交通死亡事故ゼロ 1,500日

津山町へ警察から感謝状



▲褒状を受けとる横山地区コミュニティ推進協議会の佐藤会長

津山町横山地区が交通死亡事故ゼロ1500日を達成、これをたたえて1月16日、津山総合支所において市交通安全対策協議会と登米警察署長から横山地区コミュニティ推進協議会(会長・佐藤秀一)へ褒状が贈られました。また、この達成に併せ、登米警察署長から津山町(津山総合支所長)へ宮城県警察本部交通部長からの感謝状が伝達されました。褒状を授与された佐藤会長は「地域の皆さんと関係団体の協力のおかげ、今後とも記録を更新していけるよう努めたい」と決意を述べました。

▶今年参加した男衆の最年少は12歳。伝統はこれからも受け継がれていきます



男衆は、「ホーホー」と奇声を上げながら、家々の軒先に用意された桶やバケツの水を、屋根に向かって勢いよくふりかけていきます



▶身支度を終えた男衆が、開会の花火を合図に「水かぶりの宿」を出発



▲祭り当日の朝、男衆がまとう「しめなわ」などを作る「水かぶり保存会」の方々。伝統の祭りを支えます



▶水かぶりの一行が通り過ぎた後、道路に落ちたわらを片付けます。きれいに「スッキリ」ですね

米川の水かぶり



東和町米川の五日町地区に古くから伝わる火伏せの伝統行事。毎年2月の初午(はつうま)に開催される。地区の男衆が顔にすずを塗り、わら装束をまとうと、家々の戸口に用意された桶の水を屋根にかけながら、町中の火伏せを行う。人々は男衆が身に付けた「しめなわ」や「わかか」を抜き取り、自家の屋根などに上げ火伏せのお守りにする。米川の水かぶりの起源は定かたではないが、藤原秀衡が1170年に狼河原に建立した諏訪森大慈寺修行僧の行が起源とも伝えられている。2000年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

男衆のわらを引き抜く人たち。抜き取ったわらは火伏せのお守りになるといわれています



家族に水かぶりを
見せてあげたかった

吉岡進さん(中田町境塚)

東和町米川出身ですが、水かぶりを見るのは約20年ぶりになります。今年の開催は土曜日ということもあり、妻と子どもたちを連れて見に来ることができました。



家族で水かぶりを見に来た吉岡さん。みんなで火伏せのわらを取ることができてニッコリ(左が進さん)



▲東和町米川地区入口の国道346号沿いでは「米川の水かぶり保存会」の会員が設置した、高さ4mの巨大わら人形が祭りをPR



▶土曜日開催となった今年、地元の米川小学校の児童たちは、振替授業で地区の伝統行事に参加しました

市民の広場のコーナーでは、掲載を希望する人や情報を募集しています。広報広聴係まで情報をお寄せください。

総務部市長公室
広報広聴係

〒987-0511 登米市迫町佐沼字中江2丁目6-1
☎0220(22)2090 FAX:0220(22)9164
Eメール:koho@city.tome.niyagi.jp

ぼくとわたしの夢 Dream 94



佐々木 幹太さん(登米中・2年)
(登米町駅前・和俊さん方)

子どもの気持ちがわかる
優しい保育士に

登米中学校の野球部で毎日練習に励んでいる幹太さん。そんな幹太さんの夢は、意外にも「保育士」になることだそうです。幹太さんが保育士になりたいと思ったきっかけは学校の職場体験。幹太さんも通った登米保育所で子どもたちと触れ合い、保育士という仕事に魅力を感じました。

「勉強は得意ではない」と笑う幹太さん。それでも夢の実現に向けて、苦手な数学と英語の勉強を頑張っているそうです。どんな保育士になりたいのかとの問いには「子どもに好かれる優しい保育士になりたいです。でも、怒るときはきちんと言います」とはにかみながら話してくれました。

まちの若い衆 Young man 94



土生 雅美さん(20歳)
(迫町駒木・みずがめ座)

ヨガを通じて
心と体を鍛えたい

★身長と血液型 154センチでB型です。
★現在は 高校卒業後からみやぎ登米農業協同組合に勤め、今年で2年目になります。現在は、経理電算課で野菜の精算業務を担当しています。お金を扱う業務なので誤りのないよう常に集中して仕事に取り組んでいます。
★自分の性格 何事にも一生懸命取り組み、決めたら最後までやり遂げるタイプです。
★休日 家族と仲がいいので一緒に過ごすことが多いです。日帰りで温泉に行ったり、愛犬のペース

と遊んだりして癒やされています。
★趣味は ショッピングです。最近見た目がかわいいものを見つけたら、つい買ってしまいますね。
★理想の男性像 自分が甘えたいタイプなので、頼りがいがある父親にあふれる人。
★今やってみたいこと 健康のために、今年に入ってからヨガを始めました。ヨガを通じて何事にも動じない心と体の柔軟性を得たいです。それと、車の運転が苦手なので高速道路を自分で運転できるようにしたいです。

文芸

俳句

【俳句・川柳】

作品募集!
●4月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、3月11日までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

応募総数33作品

- | | |
|---------------|-------------|
| ふるると黄身躍り出る寒卵 | 小野寺 智子(迫) |
| 菜の花の広がる畑花明り | 佐藤 茂子(東和) |
| 震災は語り尽くせず去年今年 | 菅原 いよ子(東和) |
| 柳の芽ほのかに青し土手の径 | 鈴木 千佳(東和) |
| 嬰兒の眼に青き初御空 | 千葉 富子(東和) |
| 風情ある柳の芽吹く蔵の町 | 村上 君枝(東和) |
| 大寒ぞかちつと瞳る籠神 | 石川 敦子(中田) |
| 松が枝に春光集め玉滴 | 菊地 典子(中田) |
| 極月の古町に消ゆ歳一つ | 二木 ゆきこ(中田) |
| 軀等の集ふ炬燵の昭和かな | 佐藤 喜美子(津山) |
| 寒卵すすり一日の暮らしあり | 須藤 桂子(津山) |
| 霜柱今朝も鶏舎の賑はしく | 浅野 のり子(津山) |
| お正月餅と入れ歯の争奪戦 | 伊藤 信子(迫) |
| 神様は惜しい人程早く召し | 佐々木 美恵子(米山) |

高橋 凜ちゃん(3歳)
平成21年8月29日生まれ
津山町横山4
國雄さんの次女



いつもお絵描きやトランプをして遊んでいる凜ちゃん。最近は、ご飯を運んだりテーブルを拭いてくれたりママのお手伝いしてくれます。

今泉 壮太郎くん(1歳)
平成23年6月15日生まれ
迫町下舟丁
見広さんの長男



壮太郎くんはお風呂が大好き。いつもお父さんとお姉ちゃんと3人でお風呂に入っています。味噌汁やうどんが大好きでベロツと食べちゃいます。

わが家のアイドル Kid's

菊地 蒼空くん(2歳)
平成23年1月7日生まれ
豊里町下町
勝也さんの次男



アンパンマンが大好きな蒼空くん。毎晩アンパンマンのぬいぐるみを抱いて寝ています。散歩している犬に近付くなど、好奇心いっぱい蒼空くんです。

須藤 早彩ちゃん(1歳)
平成23年8月20日生まれ
東和町米川第8
篤さんの長女



トトロにはまっている早彩ちゃん。DVDを何回も見返しています。イチゴが大好きで、スライスしたイチゴをフォークを使って上手に食べます。

お知らせ 暮らしの情報

Tome City Information

- ▶ **追総合支所**
迫町佐沼字中江二丁目6番地1
☎ 0220-22-2111
- ▶ **登米総合支所**
登米町寺池目子待井381番地1
☎ 0220-52-5051
- ▶ **東和総合支所**
東和町米川字六反55番地1
☎ 0220-53-4111
- ▶ **中田総合支所**
中田町上沼字西桜場18番地
☎ 0220-34-2311
- ▶ **豊里総合支所**
豊里町小口前80番地
☎ 0225-76-4111
- ▶ **米山総合支所**
米山町西野字の場181番地
☎ 0220-55-2111
- ▶ **石越総合支所**
石越町南郷字愛宕81番地
☎ 0228-34-2111
- ▶ **南方総合支所**
南方町新高石浦130番地
☎ 0220-58-2111
- ▶ **津山総合支所**
津山町柳津字本町218番地
☎ 0225-68-3111

市営住宅・定住促進住宅 入居者募集

1市営住宅

- ▼ 中田大柳住宅31号(中田町上沼字大柳119番地5)
募集戸数/1戸(3DK)
家賃月額/1万2200円
- ▼ 米山西野第一住宅12号(米山西野字見通3番地1)
募集戸数/1戸(2DK)
家賃月額/9700円
- ▼ 米山西野第一住宅19号(米山西野字見通3番地1)
募集戸数/1戸(3DK)
家賃月額/1万1200円
- ▼ 津山宮町住宅1-2号(津山町柳津字黄牛高畑22番地1)
募集戸数/1戸(3DK)
家賃月額/1万1400円
- ▼ 1万7千円

【対象者】住宅に困っている世帯

【入居資格】①入居収入基準が15万8千円以下であること

②(小学校就学前の子どものいる世帯、身体障がい者、60歳以上の人は21万4千円以下)。※収入基準の算出は、入居予定者の合計所得から世帯主以外の入居予定者一人につき38万円を控除し、12カ月で割った金額/②同居する親族がいること(婚姻予定も可)。※原則として単身での入居はできませんが、60歳以上の入居(ただし、特例として平成18年4月1日現在で50歳以上の人も可)、身体障がい者(1級〜4級)、精神・知的障がい者は単身入居することができま。詳細についてはお問い合わせください

③入居者全員に市税の滞納がないこと/④現に市営住宅に入居している人は申し込みできません/⑤申込者または同居予定者が暴力団員でないこと。

2定住促進住宅

▼ 豊里定住促進住宅2号棟
506号
募集戸数/1戸(3DK)
家賃月額/2万5900円

【入居資格】①市内に定住を希望し、住宅を必要としている人/②市税を滞納していないこと/③暴力団員でないこと/④年収(賞与および利子所得などで継続的な収入を含む)の12分の1の額が、家賃の3倍以上であること。

共通事項

【駐車場】1台のみ、別途2000円
※駐車場がない場合もありますので、申し込みの際に確認してください。
【申込先】各総合支所市民課
および建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階)
【申込期限】3月13日(水)

ねんきんだより

異動の時期は 国民年金の届け出の時期

年金の加入者は、職業などによって3つの種別に分かれており、20歳から60歳までの人で種別が変わる場合は、届け出が必要です。(下表を参考にしてください)

●保険料の納付について

第1号被保険者になる人は、給料から天引きされる会社員などと異なり、自分で保険料月額1万4980円(平成24年度)を納めなくてはなりません。加入の手続きをとると、納付書が送付されますので、銀行、農協、信用組合、信用金庫や郵便局、コンビニエンスストアなどの窓口で支払うか、口座振替などの方法で納付します。

収入がなく支払いが困難なときは、申請により保険料の納付が免除または猶予される制度があります。学生には、「学生納付特例」という制度があります。納付が難しいときには未納のままにせず、必ず年金事務所または最寄りの総合支所市民課にご相談ください。

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅管理係)
☎ 0220(34)2316
障がい者の軽自動車税申請により減免に

一定以上の障がいがある方が、通院や通学などのために軽自動車を使用している場合、申請により軽自動車税が減免されます。家族が所有していたり、本人以外が運転している場合でも減免される場合がありますので、確認の上、申請してください。

【申請に必要な書類】①減免申請書(税務課、各総合支所に用意してあります)/②運転免許証/③身体障害者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳など/④軽自動車税納税通知書/⑤印鑑
【申請の期限】4月23日(火)まで(納期限の7日前)
※今年度、減免申請した方は、事前(3月下旬)に申請書を郵便で送付します。
【問い合わせ】総務部税務課(市民税係)
☎ 0220(22)2163
または各総合支所市民課

●普通救命講習・上級救命講習の受講者募集

●普通救命講習

【日時】3月17日(日)午前9時〜正午
【講習内容】心肺蘇生法、AEDの使用法、大出血時の止血法など
【申込期限】3月12日(火)
●上級救命講習
【日時】3月24日(日)午前8時30分〜午後5時30分
【講習内容】普通救命講習の内容に加え、気道異物の除去法、外傷の処置法、傷病者管理法、搬送法など
【申込期限】3月19日(火)
●共通事項
【場所】市消防防災センター
【受講料】無料
【募集人員】30人程度
【申込方法】市消防署(救急係)にお申し込みください。
もしもの時に「正しい応急手当」ができるよう事業所の皆さんで誘い合って、また、お一人でも受講できますので気軽に受講してみたいかかでしょうか。
【問い合わせ】市消防署(救急係)
☎ 0220(22)2119

●おわびと訂正
広報とめ2月21日号8ページ「歯科休日当番医」の町名に誤りがありました。正しくは「グリーンヒルズデンタルクリニック(中田町)」です。おわびして訂正いたします。



阿部 龍雅くん(豊里町横町・秀樹さん) 阿部 眺稀くん(豊里町仲町・正輝さん) 佐々木 美穂ちゃん(豊里町仲町・武彦さん) 遠藤 日向子ちゃん(豊里町浦軒・孝さん)



遠藤 優晟くん(津山町横山8・貴さん) 八木 涼太くん(豊里町浦軒・辰弥さん) 佐々木 大志くん(豊里町山根・隆次さん)

12月20日の3歳児健診(3歳6〜7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内2地区で8人中7人でした。

※()内には申し出があった保護者の名前を掲載しています。

種別	こんなとき	変更後の種別	届出先
第1号被保険者 (学生、フリーター、自営業者、農業従事者などとその配偶者)	就職し、厚生年金や共済組合に加入した	第2号被保険者	勤務先
	第2号被保険者である配偶者の扶養に入った	第3号被保険者	配偶者の勤務先
第2号被保険者 (会社員や公務員など)	退職した	第1号被保険者	各総合支所市民課
	退職し、第2号被保険者である配偶者の扶養に入った	第3号被保険者	配偶者の勤務先
第3号被保険者 (第2号被保険者である配偶者に扶養されている人)	収入が増えるなどして扶養から外れた	第1号被保険者	各総合支所市民課
	扶養している配偶者が65歳になった	第2号被保険者	勤務先
	就職し、厚生年金や共済組合に加入した 扶養している配偶者の加入する年金制度が変わった	第3号被保険者	配偶者の勤務先

緊急速報メール(エリアメール)の運用を開始します

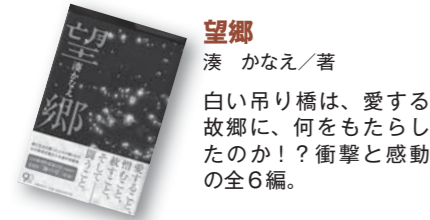
緊急速報メール(エリアメール)は、災害の発生や避難指示が必要になった場合や大規模テロの発生などにより、生命に危機がおよぶ場合に、市民皆さんや観光などで登米市に滞在している全ての方に対して、いち早く情報を伝達するための仕組みです。

組みです。市では、3月1日からドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に向けて運用を開始します。
【問い合わせ】総務部防災課
☎ 0220(22)2130

新刊紹介

迫図書館/☎0220 (22) 9820

大人向け

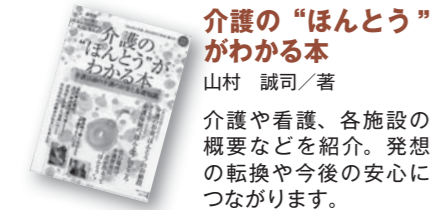


望郷
湊 かなえ/著
白い吊り橋は、愛する故郷に、何をもたらしたのか!? 衝撃と感動の全6編。

できる大人のモノの言い方大全

話題の達人倶楽部/編

“状況”や“相手”に合わせて的確な言葉を。仕事でも家庭でも役立ちます。



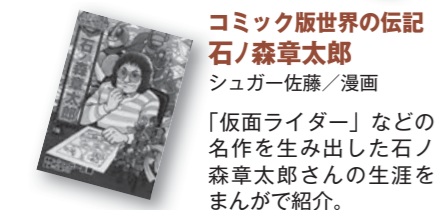
介護の“ほんとう”がわかる本
山村 誠司/著
介護や看護、各施設の概要などを紹介。発想の転換や今後の安心につながります。

子ども向け

おひなさまのいえ

ねぎし れいこ/作

元気がかわいい“おひなさま”のお話。伝統行事「ひなまつり」の由来も分かります。



コミック版世界の伝記 石ノ森章太郎
シュガー・佐藤/漫画
「仮面ライダー」などの名作を生み出した石ノ森章太郎さんの生涯をまんがで紹介。

たのしい四字熟語

青山 由紀/監修

たっぶりのイラストで、楽しく四字熟語を覚えませんか? 驚きの豆知識も書いてあります。



★飲んだ帰りは“ヤマト”へお任せ下さい!!

YAMATO

宮城県公安委員会 認定 第236号

ヤマト運転代行

☎0220-22-5559 携帯 090-4313-4915

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

確かな技術でまかせて安心

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1

TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

東日本大震災被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます

まごころ込めてお手伝いいたします

(株)国分や葬祭店

経済産業大臣認可 全葬連 宮城県葬祭業協同組合加盟店
http://www.zensoren.or.jp/ http://www.miyagi-sougi.com/

提携協力団体・COOPみやぎ生協・JP日本郵政グループ労組・宮交共済会・JAM・勾当台クラブ・etc

[本社] ☎42-2105 ◆米谷店ショールーム ☎53-2323 [登米店] ☎52-3906

エネルギーに夢をのせて

KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業

■アクアショップKUMANEN ■BFCクマネン
■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家 ざらり

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畷田120番1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

年金相談所を開設します

年金の申請手続き、支払内容、加入状況など、年金に関する相談に応じます。

【日時】3月21日(木)午前9時30分～正午、午後1時～3時30分

【場所】市役所迫庁舎1階(会議室)

【問い合わせ】古川年金事務所 ☎0229(23)1204

こいのぼり お譲りください

中田町浅水地区では次代を担う子どもたちが元気にたくましく育つようにと願いを込めて、毎年4月から5月にかけてこいのぼりを掲揚していただきます。家庭で使わなくなったこいのぼりがありましたら、ぜひ提供をお願いします。

パソコン相談室を開催

●引越しのしがきを作成
【日時】▼3月12日(火)午前10時～正午 ▼3月15日(金)午後7時～9時

●インターネット検索を学ぶ
【日時】▼3月19日(火)午前10時～正午 ▼3月22日(金)午後7時～9時

【場所】迫にぎわいセンター

【受講料】2000円

●出前相談室

あなたの都合の良い時間にパソコンを持参して相談に応じます。女性スタッフも多数いますので安心してご相談ください。

【受講料】1コース(4時間)5000円

【申し込み・問い合わせ】NPO法人パソコン・ネット・みやぎ ☎0220(21)5262

祝祭劇場イベント情報

●永浦レイ子 山田せい子 組みひも・水引展 「ひもむすびつなぐ」
日時/3月1日(金)～29日(金) 10:00～17:00(最終日は正午まで)
会場/レストラン 入場料/無料

●新舞踊まつりチャリティーショー
日時/3月17日(日) 10:30～
会場/大ホール 入場料/1,500円

●H@!FM PRESENTS 熊谷育美「花鳥満月～光と影～」登米の巻 第二話
日時/3月23日(土) 18:30～
会場/小ホール 入場料/中学生以上3,500円 小学生2,000円

※毎週月曜日は休館日です。月曜日が祝日の場合はその翌日が休館日になります。
※イベントは主催者の都合により変更や中止になる場合があります。

【問い合わせ】登米祝祭劇場 ☎0220(22)0111

【提供できる場合】3月31日(日)までに、電話で連絡をお願いします。受取方法は、こちらから提供いただけるお宅まで直接伺います。

【連絡先・問い合わせ】浅水ふれあいセンター ☎0220(34)2008

※開館時間 火曜～土曜日の午前8時30分～午後5時15分

※受講日前日までに申し込みください。

●無料相談室
いまさら家族や同僚に聞けないパソコンの操作方法をやさしく繰り返し教えます。

【日時】3月24日(日)午前10時～正午

【場所】迫にぎわいセンター

※開催日5日前までにお申し込みください。

夜間相談窓口開設日

市税、税外4債権(住宅使用料・保育料・幼稚園授業料・給食費)に関する納付相談に応じます。

【日時】3月28日(木)午後8時まで

【場所】総務部収納対策課(市役所迫庁舎1階)

【問い合わせ】総務部収納対策課(徴収対策係) ☎0220(22)2169

地域資源連携活用講演会

登米市産食材のブランド構築を促進するため、地域資源を活用した商品開発の手法や販路開拓についての講演会を開催します。既に加工品を開発し販売している方、今後商品開発したいと考えている方をはじめ、どなたでも参加できますので、皆さんご参加ください。

【開催日時】3月21日(木)午後1時30分～午後4時30分

【場所】ホテルニューグランドヴィア(2階風風の間)

【講演内容】①地域資源を活用した商品開発とマーケティング

【相談日時】3月26日(火)①午前9時30分～②午前11時

【申し込み・問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室 ☎0220(34)2716

0220(34)2801

障害者しごと相談

【相談日時】3月26日(火)①午前9時30分～②午前11時

【申し込み・問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室 ☎0220(34)2716

0220(34)2801

アース・ビジョン 「地球環境映像祭2011」

アジアで最も歴史のある、環境がテーマの国際映像祭「アース・ビジョン地球環境映像祭」。世界の優れた環境映像や映像制作者と出会う場として毎年開催されています。今回は初めて東京から離れ、登米市でフェスティバルを開催します。

環境について一緒に考えてみませんか。この機会にぜひお越しください。

【期間】3月22日(金)～24日(日)

【場所】登米祝祭劇場(大ホール)

【内容】▼5本の子どもアース・ビジョン賞作品を上映

【入場料】無料

【問い合わせ】アース・ビジョン事務局(日本の森バイオマ)

多重債務無料法律相談 多重債務110番

●多重債務無料法律相談
【日時】3月8日(金)、22日(金) 午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター
【担当】8日:柳瀨勝一(司法書士) 22日:及川毅(弁護士)
※事前に電話で予約してください。
☎0220(34)2308

●多重債務110番
【日時】3月11日(月)、25日(月) 午前8時30分～午後5時15分
【場所】市役所中田庁舎2階(産業経済部商工観光課内)
【相談料】無料
【相談専用電話】☎0220(34)2308
【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係) ☎0220(34)2734

佐沼小学校 校舎を見学できます

佐沼小学校の校舎・屋体は老朽化や耐震強度の低下などにより、同校敷地内に新校舎を建設しています。

旧校舎、新校舎の見学を希望する方は、事前に佐沼小学校に連絡をしていただければ次の期間内で見学できます。

●旧校舎の見学
4月16日(火)、17日(水)

●新校舎の見学
3月11日(月)、12日(火)

※両日とも午前10時～正午、午後2時～4時

【問い合わせ】佐沼小学校 ☎0220(22)2740

多重債務無料法律相談 多重債務110番

●多重債務無料法律相談
【日時】3月8日(金)、22日(金) 午後1時15分～4時15分
【場所】迫にぎわいセンター
【担当】8日:柳瀨勝一(司法書士) 22日:及川毅(弁護士)
※事前に電話で予約してください。
☎0220(34)2308

●多重債務110番
【日時】3月11日(月)、25日(月) 午前8時30分～午後5時15分
【場所】市役所中田庁舎2階(産業経済部商工観光課内)
【相談料】無料
【相談専用電話】☎0220(34)2308
【問い合わせ】産業経済部商工観光課(商工業振興係) ☎0220(34)2734

3月の納税

▶後期高齢者医療保険料…第9期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限/4月1日(月)

登米市の人口・世帯数
(平成25年1月末現在)

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,464	10,434	11,182	21,616
登米	1,834	2,497	2,769	5,266
東和	2,480	3,505	3,678	7,183
中田	4,806	7,824	8,267	16,091
豊里	2,077	3,369	3,504	6,873
米山	2,847	4,894	5,110	10,004
石越	1,608	2,638	2,750	5,388
南方	2,581	4,301	4,607	8,908
津山	1,223	1,783	1,929	3,712
合計	26,920	41,245	43,796	85,041

※平成24年7月9日から外国人住民も住民基本台帳制度の対象になったため、上記人口・世帯数に含まれています。

市内の交通事故発生状況
(平成25年1月末現在) ※佐治・登米警察署調べ

	H25	H24	増減数
人身事故発生件数	43件	27件	16件
死者数	0件	0件	0件
負傷者数	54件	32件	22件
物損事故発生件数	307件	194件	113件

※平成25年1月からの延べ件数

■警察署からのお知らせ

- 冬道(圧雪や凍結路面など)における滑走事故が多発しました
- 冬道ではスピードを抑え、車間距離を十分にとった運転を心掛けましょう。
- 夜間、歩行するかたは必ず反射材を身に付けましょう。

と認める者

掲げる者と同等の資格がある

【受験資格】①昭和58年4月2日から平成4年4月1日生まれの者②平成4年4月2日以降生まれで次に掲げる者(1)大学を卒業した者および平成26年3月までに大学を卒業する見込みの者(2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

【受験申込受付期間】
①インターネット (http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html) で申し込み
▼平成25年4月1日(月)午前9時～4月11日(木)午前7時30分
②郵便・持参で申し込み
▼申込先 仙台国税局
▼申込期間 平成25年4月1日(月)～2日(火)午前9時～午後5時

【対象】小学校1年～6年生

【定員】45人

【入会基準】仕事などの理由で保護者が昼間家にいない家庭

【開設日】▼月曜～金曜日(下校後午後7時)▼土曜日(午前7時30分～午後6時、第2土曜日は休み)▼長期休業日(午前7時30分～午後7時)

【会費】有料(学年などにより金額が異なります)

【対象地区】迫町森、北方、新田地区(地区別に開催)

【対象】1歳～4歳(親子での参加になります)

【定員】各地区15組程度

【開設日】▼森 毎週金曜日
▼新田 毎週木曜日
▼北方 毎週水曜日(各地区午前9時30分～正午)

【会費】無料(ただし、おやつ代月1000円程度、傷害保険料年間800円程度がかかります)

【共通事項】
【申込方法】錦児童館備え付けの入会申込書に必要事項を記入の上、お申し込みください。
【申込期限】3月22日(金)
【申し込み・問い合わせ】社会福祉法人あすなろ 錦児童館
☎02220(22)8837

平成25年度 国家公務員「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。仙台国税局に採用されると税務大学校で研修を受けた後、仙台国税局管内(東北6県)の税務署に配属されます。

【第1次試験日】平成25年6月9日(日)

運転中の眠気に注意!

だんだん暖かくなるこの時期、車を運転中に急に睡魔が襲うことがあります。そのような時は無理をしないで休憩し、居眠り運転をしないようにしましょう。風邪や花粉症の薬の副作用により眠気を催すこともあります。薬を購入する際に確認し、副作用がある場合には運転を控えるようにして、悲惨な交通事故を起こさないよう心掛けましょう。

錦児童館 平成25年度会員募集

時～午後5時

※郵送は通信日付印有効

※資料の請求は、最寄りの税務署、仙台国税局人事二課または人事院東北事務局まで

【問い合わせ】仙台国税局人事第二課(試験研修係)
☎022(263)1111

●幼年クラブ会員

【対象地区】迫町森、北方、新田地区(地区別に開催)

【対象】1歳～4歳(親子での参加になります)

【定員】各地区15組程度

【開設日】▼森 毎週金曜日
▼新田 毎週木曜日
▼北方 毎週水曜日(各地区午前9時30分～正午)

【会費】無料(ただし、おやつ代月1000円程度、傷害保険料年間800円程度がかかります)

◆予備自衛官補募集

【応募資格】
▶一般 = 18歳以上34歳未満の者
▶技能 = 18歳以上で国家免許資格などを有する者(保有する技能に応じ53歳未満～55歳未満の者)

【受付期限】4月3日(水)

【試験日】4月12日(金)～15日(月)のうち1日を指定

【合格発表】5月17日(金)

【採用後の教育訓練】
一般: 3年以内に50日の教育訓練
技能: 2年以内に10日の教育訓練

【教育訓練場所】陸上自衛隊多賀城駐屯地

【待遇等(身分)】非常勤の特別職国家公務員

【教育訓練招集手当】月額7,900円支給(教育訓練参加日数分支給)

【教育訓練招集旅費】教育訓練に参加する場合自宅から教育訓練実施駐屯地まで交通費を支給

【管理事項】▶食事: 教育訓練招集期間中は、無料支給▶宿泊: 教育訓練招集期間中は駐屯地内の宿舎に起居(無料)▶被服: 教育訓練に使用する被服は無償貸与

★追加募集・自衛官候補生(男子)▶27歳未満※若干名▶受付期限: 3月7日(木)必着▶試験日・場所: 3月9日(土)、仙台駐屯地 ※詳細については、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】自衛隊宮城地方協力本部(登米地域事務所) ☎0220(34)2244または0220(34)8807

◆自衛隊幹部候補生募集

【種別】①一般・技術 ②歯科・薬剤科

【応募資格】
①一般・技術 = 20歳以上28歳未満▶22歳未満は大学卒業生(見込み含む)▶26歳以上は大学院修士課程修了者(見込み含む)
②歯科 = 20歳以上30歳未満かつ専門の大学卒業生(見込み含む)
薬剤科 = 20歳以上26歳未満かつ専門の大学卒業生(見込み含む)▶薬学修士取得者は28歳未満(資格年齢は平成26年4月1日現在)

【受付期限】4月26日(金)必着

【試験日】1次試験 = 5月11日(土)、12日(日)
※12日は飛行要員のみ

【1次試験合格発表】5月31日(金)
※合格者は2次試験に進みます。

【待遇など】身分: 特別職国家公務員
給与: 幹部候補生(大学卒業生)月額 = 214,900円
幹部候補生(大学院卒業生)月額 = 232,000円
賞与: 年2回(6月・12月)

第54回中田地区ピンポン大会参加者募集

【日時】3月21日(木) 午後6時30分～午後6時から受け付け

【場所】中田総合体育館(なかだアリーナ)

【参加資格】中田町内在住者または勤務者

【内容】団体戦(3シングル・硬式)

▼家族・職場・友人・男女混合可▶人数がそろわない場合や1人で参加希望の場合は、お問い合わせください。

【参加費】1チーム600円

【申込方法】電話・ファクシミリ
※ファクシミリの場合は、なかだアリーナおよび大会事務局に備え付けの申込用紙か任意の用紙に、チーム名・参加者全員の氏名・年齢・電話番号を記入の上、

登米市弓道大会参加者を募集

【日時】4月7日(日) 午前9時～

【場所】登米総合体育館(蔵ジヤム) 特設射場

【参加資格】県内の弓道経験者(高校生も可)

【競技】1人6射・3人2射場・個人戦

【参加料】1000円(昼食代含む)

【申込期限】3月31日(日)

【申し込み・問い合わせ】弓道協会(会長・海老名) ☎02220(52)2016

こども夜間安心コール

●電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)

●相談時間
毎日午後7時～翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号で24時間対応しています。

☎0229(24)2267

●3月の休日急患当番医・歯科休日当番医は「広報とめ」2月21日号に掲載しています。

株式会社 清建 環境プロバイダ

本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3
TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 清建物流
TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535
本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1

有限会社 リースキン宮城
TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所
有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所
すずらん託児室
TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん託児室】TEL.0220-22-7755

安心・安全・安価で予約承り中

お料理 2,000円より承ります (バス送迎無料)

株式会社 刺蒸くまがい

■本社/登米市中田中学校通り TEL.0220-34-5002(代)
■総合センター/中田総合支所通り TEL.0220-34-8707
■花泉営業所/一関市花泉町駅前通り TEL.0191-82-2946

株式会社 誠香社 24時間電話受付 34-4856(代)

とよま斎苑 中田行倉前「80名様可」
～メモリアルホール～
とよま斎苑 せいか苑 中田総合支所通り「100名様可」
～葬祭会館～
とよま斎苑 せいか苑 西ホール

祭壇+葬具一式・20万円 会館使用料無料・光熱費1日1万円
自宅葬も同じ値段です。

福祉葬儀一式15万円、自宅葬も同じ料金です。(生活保護世帯対象)

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

ときめき人

Tokimeki Bito

迫町光ヶ丘西

鹿間 斗輝天さん

しかま ときお
平成10年生まれ 血液型/O型

今年1月1日から5日まで台湾で開催された第10回日台国際野球大会。その大会に、東北連盟選抜チーム24人の一員として、佐沼中2年の鹿間斗輝天さんが出場しました。一昨年登米市に発足した宮城登米リトルシニアのエースとして活躍する鹿間さん。秋に開催されたリトルシニア東北大会のピッチングが、選抜チームの監督の目に留まったの代表入りです。台湾では3試合に登板、自責点ゼロに抑えるなど期待に応えました。「自分の持ち味はピンチにも動じないこと」と強気の鹿間さん。「将来は、今のチームメートと同じ高校に行き、甲子園を目指したい」と、夢を話してくれました。



台湾での国際大会に登板した鹿間さん。堂々のピッチングで見事期待に応えました

リトルシニア東北選抜として 日台国際野球大会に出場

国際大会でも強気のピッチング
将来はチームメートと甲子園に



広報 Tome

Miyagi Tome Public Relations

今月の表紙



◀2月3日に北上川堤防で開催された「とよま凧あげ大会」。家族連れなど大勢の人たちが参加しました。青空に向かっての凧あげ。楽しそうでしたね。

編集室から

▼「米川の水かぶり」の取材。うわさには聞いていましたが、伝統の奇祭を写真に撮ろうというアマチュアカメラマンの多さに驚きました。今月号に掲載したのは、そんな人たちに交じり「火伏せの水」をかけられながら撮影した写真です。(遠藤)

▼むし歯のない子の写真を撮りに3歳児健診に行くと、子どもから声を掛けられることがあります。それが最近ともうれしくて、私の活力になっていきます。たくさんの子どもたちにお礼を言いたいです。ありがとうございます。またおしゃべりしようね。(宮内)

▼朝夕の冷え込みもようやく一段落し、春の気配を感じる季節となりました。しかし、市内では小学校や幼稚園でインフルエンザによる学級閉鎖がまだ見受けられます。皆さん、健康管理には気を抜かないようにしましょう。(伊東)



モバイルとめ
(携帯電話版ホームページ)
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<http://tomecity.mail-dpt.jp/>

